

2023年度 日本工学院八王子専門学校											
デザイン科 プロダクトデザイン専攻											
デザイン論 2											
対象	1年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	袴田哲郎			実務 経験	有	職種	プロダクトデザイナー				
授業概要											
プロダクト製品の材料や仕上げなどデザイナーに不可欠な知識を身につけます。											
到達目標											
プロダクトデザイナーと基本的素材の特性および加工方法、簡単な機構を理解し線を使用したテクニカルイラストレーションで表現ができるようになることを目標としている。											
授業方法											
事例紹介を通してデザインとコミュニケーションのあり方を学び、レポートや発表で理解度を確認する。他人が発する情報をどのように受けとめ、理解するか、さらにそれをどのように伝えていくかを意識しながら、授業を進める。授業中での行動を通じて、「デザイン＝コミュニケーション」であることを踏まえ、デザイナーと社会の関わり方を理解し自分自身の言葉で語るができるようになることを目指す。											
成績評価方法											
作文・課題：60% 課題を総合的に評価する。 ワークシート：10%授業内容の理解度を確認するために実施する。レポート：10%授業内容の理解度を確認するために実施する。 成果発表：20%授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する。											
履修上の注意											
学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。自ら関心をもって情報を取材し発表するだけでなく、他者の発表にしっかり耳を傾けること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。											
教科書教材											
プロダクトデザインの基礎他参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。											
回数	授業計画										
第1回	ガイダンス、プロダクトデザイン製品の構造①										
第2回	プロダクトデザイン製品の構造②										
第3回	プロダクトデザイン製品の構造③										

2023年度 日本工学院八王子専門学校

デザイン科 プロダクトデザイン専攻

デザイン論 2

第4回	プロダクトデザイン製品の構造④
第5回	材料・機能と量産化①
第6回	材料・機能と量産化②
第7回	材料・機能と量産化③
第8回	材料・機能と量産化④
第9回	個別調査 素材研究 構造研究①
第10回	個別調査 素材研究 構造研究②
第11回	個別調査 素材研究 構造研究③
第12回	個別調査 素材研究 構造研究④
第13回	個別調査 素材研究 構造研究発表①
第14回	個別調査 素材研究 構造研究発表②
第15回	授業のまとめ